

科目	マネジリアルエコノミクス	担当	雨宮 康樹	履修学年	3年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

経営に関するさまざまな問題を経済学や財務理論を用いて分析する手法を学習する。主要なテーマは損益分岐点、価格弾力性、企業価値である。限られたテーマを段階を追って説明するので、毎回欠かさず出席すること。この講義を通して価格戦略および経営戦略の基本を習得してほしい。

【履修注意】

講義開始時に履修上のルールを説明する。ルールを順守できないと思う学生は、第一回講義終了後、履修変更すること。

【評価方法】

中間まとめ、期末試験(80%)および出席(20%)

【試験について】

中間まとめ、期末試験を実施する

再試験対象者の条件：中間試験と期末試験の平均点が50点以上の者

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	損益分岐点(1)	損益分岐点とはなにか 財務会計 管理会計 企業戦略
2	損益分岐点(2)	生産と費用 固定費 変動費
3	損益分岐点(3)	限界利益と固定費の回収
4	損益分岐点(4)	応用問題(1) 航空会社のコスト構造
5	損益分岐点(5)	応用問題(2) 理容院経営を軌道にのせる
6	損益分岐点(6)	応用問題(3) イタリアンレストランのメニューを決める
7	需要の価格弾力性(1)	価格弾力性とは 値下げ戦略は売上増加に貢献するか
8	需要の価格弾力性(2)	東京と大阪の消費者 バブルと不況の経済学
9	需要の価格弾力性(3)	男と女の消費行動
10	需要の価格弾力性(4)	まとめ
11	供給の価格弾力性(1)	野菜の価格はなぜ乱降下するか
12	供給の価格弾力性(2)	豊作貧乏のメカニズム
13	供給の価格弾力性(3)	まとめ
14	所得弾力性	エンゲル係数 所得が増えると牛肉が売れる
15	復習	総まとめと確認
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ